

とこノビ24



VISION BOOK 2024 KAKOGAWA BAPTIST CHURCH



KBC かがわ

加古川市加古川町大野 823
Tel 079-423-2729 www.kakogawabc.jp

KBC はりまチャペル
加古郡播磨町東野添 3丁目 2-17



KBC おのチャペル
小野市上本町 9-3 ルミエール 102



主のおしえを喜びとし昼も夜もそのおしえを口ずさむ
 人その人は流れのほとりに植えられた木時が来ると実
 を結びその葉は枯れ
 すべて栄える

教会の祝福

60人 信仰告白

- A 守つゆ子 守理佐 堀田末子 大野ひろ子 後藤ゆかり 唐津秀子
- B 綿谷裕之 樫原奈緒美
- C 棟久健人 本田淑方 橋功二
- D 巽進次郎
- 中高 東田伊織 櫻井章汰
- CS 榎原歌歩 嶋谷冠名 安田心仰 下柳拓実 東田ちひろ 本田優愛
 堀江詩真 新谷蒼紘 末神朱優 二神桜月 松原詩乃 大橋すみれ
 橋柚樹 三木柚希 本岡花心 松原稀一 河野光 井川恵菜
 金盛恵大 杉浦杜真 梅谷結愛 隈江理乃 松尾侑奈 長尾粹
 吉村永愛 高田和鈴 青波とうま あさのりょうすけ あさのこうた
 北山楓 神谷九
- はりま 竹中慶祐 竹中愛祐 永吉隆浩 中川順子 上之園優那
- おの 前谷順子 濱本ゆか 小西久信 宮本樹 嶋村愛海 日阪真由美
 横山道子 神栄響子 神栄ひなこ ひであき

- 4月 2日 405名 ビジョン 2022
- 30日 421名 宣教 52 周年記念集会
- 5月 7日 408名 子ども祝福
- 14日 459名 母の日礼拝
- 6月 18日 461名 父の日礼拝
- 7月 16日 551名 CS ウォーターサンデー
- 10月 1日 473名 秋っぱれサンデー DAY1 礼拝
- 8日 457名 秋っぱれサンデー DAY2 運動会
- 12月 17日 651名 クリスマス礼拝 合同
- 24日 488名 クリスマス礼拝 3ヶ所
- 31日 89名 COUNTDOWN
- 1月 1日 349名 元旦礼拝
- 7日 413名 新年礼拝

12人・8人 バプテスマ転会・決心

- A 武中妙 堀江迪男 竹中恒四郎
- C 長尾光(転会) 長尾愛(転会)
- D リュウホウテン ウェスリー(転会)
- CS 澤田怜奈
- はりま 木藤和香代 川崎和雄(転会) 川崎容子(転会)
- おの 前谷順子 デシー 宮本あかり 宮本恵理 宮本樹
 ジョセフ ラムー(転会) ジャバ(転会) 布目浜子(転会)

	2023 年度 礼拝人数			Prayer Meeting
	大人	CS		
4月	341	71	412	68
5月	349	67	416	72
6月	344	69	413	79
7月	364	86	450	73
8月	341	80	421	76
9月	343	75	418	72
10月	382	63	445	70
11月	339	77	416	66
12月	365	111	477	73
1月	343	72	415	77
2月	342	77	419	70
3月	338	75	413	74
平均	349	77	426	73

22人 バプテスマ

- 松谷秀己 嶋谷章子 松本富子 宮内晴成 金田拓真 平田正輝
- 堀江光司 石川恵実 榎原ひかり 小林和生 小林知生 吉永幸恵
- 新田証 西村和真 本田光輝 武中妙 堀江迪男 竹中恒四郎
- リュウホウテン 木藤和香代 前谷順子 中尾渥美

礼拝平均人数	二〇〇一年	二〇〇二年	二〇〇三年	二〇〇四年	二〇〇五年	二〇〇六年	二〇〇七年	二〇〇八年	二〇〇九年	二〇一〇年	二〇一一年	二〇一二年	二〇一三年	二〇一四年	二〇一五年	二〇一六年	二〇一七年	二〇一八年	二〇一九年	二〇二〇年	二〇二一年	二〇二二年	二〇二三年
	217	213	225	245	251	252	265	294	273	281	290	293	313	319	316	323	307	313	324	330	340	349	
	47	53	51	49	43	44	46	46	49	53	49	51	47	50	57	61	63	69	69	79	87	72	77
	264	266	276	294	294	295	298	311	343	326	330	341	340	363	376	377	386	376	382	404	417	412	426

あなたかたかわたしを
 選んだのではなくわた
 しがあなたがたを選び
 しまし
 したが
 その
 たが
 たが
 て父
 べて
 るよ
 り
 ます

VISION BOOK

- 02 03 KBC の歩み
- 04 05 ビジョン 2024
- 06 5 年計画
- 07 教会組織図
- 08 開拓 はりま おの
- 09 エンカウンター
- 10 11 宣教 NEWS
- 12 13 コイノーニア 4W
- 14 15 集会目的 奉仕者リスト
- 16 17 年間計画
- 18 予算 2024
- 19 決算報告 2023
- 20 教会の祝福 行事報告 2023

強くあれ 雄々しくあれ 恐れてはならないおのれ 1970-2024の歴史 あなたが行くとこつこつこつこつこつこつめよたの神主があなたとともにおられるのだから

1 九七〇年、アメリカ人宣教師マーカム家族が主に遣わされて加古川で宣教を始めたことにより加古川バプテスト教会が誕生しました。日本人への愛と労苦と宣教の熱意をもって伝道をして下さいました。梅谷兄が一九七三年に伝道師就任。一九七五年、牧師に就任し宣教と牧会の働きが始まりました。その頃、教会の基礎となる人たちが救われ、教会員となりました。その人たちの忠実な歩みは、後のクリスチャンの模範となり教会形成が進みました。

主は会堂建築のビジョンを牧師を通して教会に明らかにされました。教会員は当時三〇人足らずでした。教会員は信仰を精一杯持ちビジョンを受け取りました。多くの困難がありました。その中で主は私たちがいつも助け導いてくださり、困難を乗り越えさせてくださいました。

一九八〇年四月二十九日、友沢会堂の献堂式を大きな喜びの中でおこないました。三〇人には広すぎる会堂に見えませんでした。主は多くの人を送ってくださいり人であふれるようになり、一九八六年、増築工事をおこない宣教を拡大しました。



1 一九九一年、福音コンサートで三〇〇人以上の出席がありました。それは主から与えられたビジョンの成り立ちでした。新会堂土地購入へのゴーサインであると判断し、候補地をさがしました。

ました。一〇〇〇坪の計画のもと、大沢と神野がありました。主は毎回購入をどめられました。私たちは主から訓練されていることを知りました。加古川バプテスト教会にどうしても必要な二つの『宣教の熱意』『主の義』を持つ教会となることを訓練されました。最終的にすべての条件に合う大野の地、約五三〇坪が与えられました。市街化調整区域であることから県や地元との交渉が難航し建築ができないという状況が何度もありました。主が与えられた地であるとの確信から教会が一致して祈り続けました。主が多くの人々、出来事を動かしてくださる許可を得ることができました。



一九九三年、四月に新会堂着工。十一月二三日完成感謝集会には三一六人が集い大きな感動で溢れました。一九九四年四月二十九日、献堂式をおこない土地会堂が主の栄光のために用いられることを願いました。主は礼拝出席者を増し加えて下さり、駐車場がすぐ満車になりました。駐車場の確保のため公園の駐車場を一時借りましたが、夏は置けないことがあり、一九九六年一月、会堂北側の土地を購入。駐車場として使用しました。合計約七〇〇坪となりました。

一九九一年に与えられたビジョン一〇〇〇坪を三四坪越えた土地を教会が使えるようになりました。主が与えて下さった約束だけを見て従順に従ったとき、最高のものをゆだねて下さいました。二〇〇〇年、ウイングのために約二〇〇坪の土地を購入、駐車場のため約三〇〇坪の土地を借りました。この地を見たときに思い描くように導かれた光景を現実に見ることができました。二〇〇五年、東側六三九坪を購入。献金と教会債で一億六千四百七十七万あり、全ての必要が満たされました。二〇〇八年九月、子どもたちが礼拝するためのチャペル棟、教室・職員室としてのKBCI棟、宿泊施設としてのウイングII、スタッフが働くオフィス棟が完成しました。



二〇一〇年、青垣町にキャンプ場を購入しました。キャンプ場を使いやすくするために整備しました。マウンテン青垣と名付け毎月KBCIが青垣で授業を行い、各ゾーンがキャンプや交わりのために使用しています。また震災で被害を受けた人たちに迎える準備をして希望を与えました。

二〇一一年、北側の土地、五七三坪を購入、一二五坪を借りることができました。造成工事が進むための準備が整いました。二〇一二年、小規模多機能型の認可を受けました。二〇一三年八月、北側土地、四六四坪を購入。造成後グラウンドとして使用できるようになりました。二〇一四年三月L.S.Kの小規模多機能型施設W.I.T.Hが完成し働きが拡大しました。

2 〇一五年、三回の礼拝で四〇〇人を越えました。新会堂のために準備を始めました。二〇一六年十月、認定こども園ちいるば保育園の園舎が完成し十月開園しました。二〇一八年四月、新会堂のために捧げました。献金「七千四二五万六千八百五十七円」教会債「一億二千八百九十三万五千七百円」合計「二億三千八百六十八万五千七百円」新会堂建設に向けて大きく前進しました。二〇一九年一〇月、会堂南、三六六坪を購入し造成し駐車場が広がりました。



二〇二〇年三月ちいるばの緑地化工事が完成し、名称がJoyJoy広場に決まりました。

二〇二一年一月、二度目の献金・教会債を五千万円の必要のために捧げました。献金「二千三百八十五万九千九百〇〇円」教会債「五千二百〇〇万円」合計「七千五百八十八万九千九百〇〇円」新会堂建築工事、さらに周辺整備の必要が与えられました。三月十二日オフィス棟南側土地七〇四坪の売買契約をしました。造成し、駐車場グラウンドとして使用しています。

二〇二二年、九月新会堂が完成し、二六日に喜びと感謝をもって新会堂一回目の礼拝を行いました。十一月三日に献堂式を行い、KBCメンバーと国内外から参加した四二五人で神に感謝を捧げました。午後からのパーティーには三九九人が参加し一緒にお祝いしました。



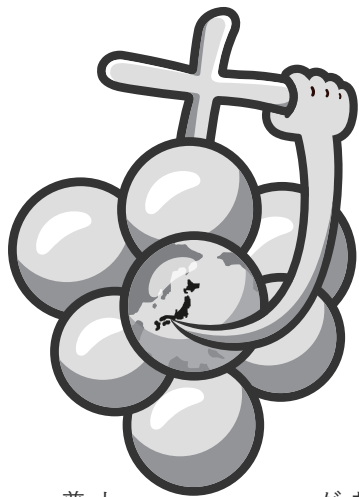
二〇二三年、四月九日、三〇人をおのチャペルに遣わし、おのエクラホールで一回目の礼拝をしました。

2 〇二三年四月、四人の牧会チームが立てられ、新体制への準備が始まりました。二〇二三年三月三十一日、梅谷牧師は牧師としての役割を終えました。この日の礼拝の最後に、教会は五年の牧会に感謝し、感謝献金を捧げました。三三〇組「二千七万五千三百二十九円」教会が一つになって主に感謝し、牧師・敬子先生の宣教師の働きに感謝しました。二〇二四年、牧会チームが按手を受け、新体制が始まります。

ビジョンの完成

二〇一八年、礼拝中に陣痛が来てそのまま別室に移動、助産師と看護士が出産を支えました。二〇二三年十二月、礼拝の中で、一人の姉妹が召されました。隣に座る看護士が召されたことを確認しました。そのまま礼拝をしました。家族が願い、本人が願っていた通り、天に召されたその日まで礼拝することができ、終わつたあと主をほめたたえました。梅谷牧師に与えられたビジョン「生まれたばかりの赤ちゃんから天に召されるまでともに礼拝する教会」の完成をみました。





イエスさまは最後の晩餐の後、語られました。「わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。」イスラエルでぶどうは「喜びと祝福の象徴」です。四月から一〇月までが乾季、一月から三月までが雨季です。イスラエル在住の日本人の日記「本日早朝にイスラエルの長い夏を告げる雨が降りました。今年も例外ではなく三月頃からまさに七ヶ月もの間、雨は一滴も降りませんでした。」そのような中、八月頃、乾季で一面が灰色になった荒野に色づき実るのが「ぶどう」です。乾季の中で実った「ぶどう」は乾いた人々を潤す喜びの実となります。

この世界を見るととき地は乾いています。イエスさまはこの世界に「実」を实らせませす。乾いた人々を潤す「実」を与えられます。

イエスさまの約束を受け取った弟子たちは、世界の祝福として用いられました。助け主なる聖霊によって励まされ、色々なところで喜びの「実」を实らせる者となりました。私たちがイエスさまの約束と、聖霊の助けによって「実」を实らせる者となることができます。

い、祝福を受け取ることは神さまの願いです。神さまが豊かな「実」を实らせてくださいます。私たちの人生を通して、神さまの喜ばれる「実」が結ばれていきます。永遠に残る救いです。

加古川バプテスト教会には証がたくさんあります。神さまの偉大な計画のために、救いのために用いられた一人ひとりがいます。一九七〇年マールカム先生が聖霊に導かれ、全てを捧げて福音を届けるために日本に来ました。一九七三年、牧師・敬子先生が、聖霊に導かれ、福音を届け、たましいの救いのために、この加古川で献身しました。篠原時代に救われた人、木村時代に救われた人がイエスさまにとどまり続けました。信仰を守り、信仰の決断をし、自らを捧げ、友沢会堂を受け取りました。一九八〇年、友沢会堂が与えられ、友沢会堂で救われた人たちがイエスさまにとどまり続けました。信仰の決断をし、神さまの計画を受け取り、福音を宣べ伝え続けました。一九九三年、大野会堂が与えられ、救われた人がイエスさまにとどまり続けました。加古川に全戸トラクト配布をし、家庭で職場で信仰の告白をし続けました。二〇二〇年、播磨町に開拓し、二〇二三年、小野市に開拓しました。永遠に残る「実」救いを受け取り続けました。二〇二一年、新会堂が与えられました。イエスさまにとどまり、神の計画を受け取り、私たちは喜んで捧げました。

神さまは教会に永遠に残る「実」を与え続けられています。神さまを礼拝し、福音を宣べ伝え、人々の救いを受け取り、神の家族として弱さを補い合いながら、ここに神の国が建て上げられています。

あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。

イエスさまは弟子たちを選びました。勝負を捨てたのではありません。イエスさまは勝算をみて弟子たちを選びました。弟子たちは賢い学者、知識を持った人たちではありません。町の主要な家、政治や社会に影響を与えている人ではありませんでした。特に何の取り柄もない普通の人々たちを選びました。

自分の努力でどうにかしなければならぬ世界。どれだけ頑張っても、残るのは無力感、敗北感が残る世界。人とのつながり、人の評価がすべてでいつか捨てられ、いらぬと言われる恐怖に怯える世界。そのような乾いた世界で生きる私たち。

イエスさまは私を乾いた世界から救うために選ばれました。「私の主はイエス・キリスト」といま告白することができます。イエスさまの十字架は私のためです。イエスさまの復活は私に希望を与えます。

私たちが選ばれた目的は「イエスさまにとどまる」ことです。

わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。

神はアブラハムを豊かに祝福されました。あまりにも祝福されたので、アブラハムの家族、甥のロトの家族が一緒に暮らすには十分ではなくなりました。アブラハムはロトに言いました。「私から別

イエスさまにとどまる人は百倍の「実」を結ぶと約束されました。神さまは教会に約束通り百倍の「実」を与えられました。

私たちはイエスさまにとどまり祝福されるために選ばれました。行って「実」を結ぶために選ばれました。教会はさらなる百倍の「実」を受け取ります。

神さまの願いは、私たちの家族の救いです。友の救いです。加古川・高砂・稲美・播磨・小野の救いです。私たちが神さまのみこころを自分の願いとして祈るとき、神さまは祈りを聞いてくださいます。私たちが通して神さまのみこころは成し遂げられていきます。ひとりの人の救いよりも大きな喜びはありません。神さまの計画のために用いられることよりも大きな楽しみはありません。普通の私たち、いや罪人である私たちが、創造主なる神の役に立つことができます。

私たちはぶどうの木であるイエスさまの枝としてとどまります。枝は家族・友・職場・学校・地域のあらゆるところに伸びていきます。そのとき多くの「実」が実ります。

加古川バプテスト教会 使命礼拝・宣教・交わり



500 礼拝

800 一般献金

190 約束献金

Vision2024

2024 テーマソング

乾いた世界を潤すのち イエスの十字架を伝える者に 何気ない毎日に輝く光 救いの喜びを届ける者に
あなたに選ばれて あなになつながら どのまでものびてゆけ 実を結ぶため
わたしは選ばれた イエスにつながって 願い祈り求めて 祝福広がる
家族に帰っていき喜びとなる イエスの愛と希望 伝える者に 聖霊に語られて出ていく 救いの知らせを届ける者に

あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それはあなたがたが、父に求めるものを実現するためです。



わたしの教会を建てますよみの門もい
 この岩の上にわたしの教会を建てますよみの門もい
 に打ち勝つことわたしはあなたに天の
 国の鍵を与えたい
 使命・ビジョン実現のための教会組織図
 解くことは天にお

イエス・キリスト

Kakogawa
Baptist Church

牧会チーム
太田 NOZO ちから 周平

顧問牧師
梅谷悟

スタッフM 総務M

教会員会議

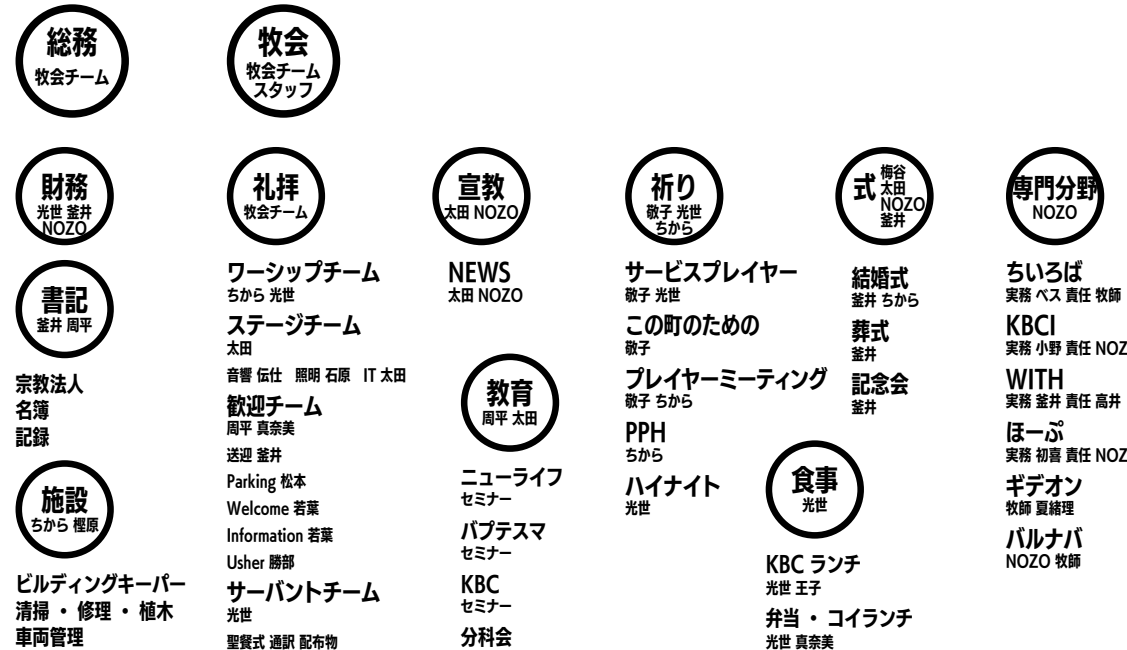
A66- 光世 NOZO B46-65 NOZO 蓋井 C30-45 ちから 光世 D19-29 真奈美 周平 E13-18 涉 周平 CS0-18 ちから 瑞穂 ベス はりま チャペル ちから おの チャペル 周平

	教会 神の国の礼拝	クリスチャン 神の国の価値観で生きる	神の国 人の成長・教会組織
2021	新会堂完成 500人礼拝 (はりま50人) 合同礼拝 2021.9~ 二部礼拝開始 2022.1~ ゴスペル (新会堂)	神の国の喜び セミナーの充実 バプテスマセミナー イエスキリストとの関係の祝福	コイシ 育成 セミナー準備 奉仕者成長
2022	会堂の活用 550人礼拝 (はりま60人) 二部礼拝の充実 シャイン礼拝開始 ゴスペル (市民会館)	神の国の広がり セミナーの多様化 イエスキリストとの関係の確信 メンバーの必要に応じたセミナー ノンクリスチャンに必要なセミナー 宣教旅行 世界宣教への参加 研修旅行 視野を広げる	教会組織の充実 各セミナー開始 新スタッフを迎える
2023	はりま会堂の準備 600人礼拝 (はりま70人) 二部礼拝の充実 シャイン礼拝の充実 ケア専門分野 災害支援分野	神の国の拡大 [世に影響を与える] セミナーの充実 イエスキリストとの関係の深まり 宣教旅行 世界宣教の実を見る 研修旅行 神の計画を受け取る	教会組織の拡大 セミナー (専門分野) の充実 →セミナー指導者育成 新スタッフを迎える
2024	新規開拓準備 650人礼拝 (はりま80人) 開拓宣教地候補決定 二部礼拝の充実 シャイン礼拝の充実 ケア専門分野 災害支援分野	神の国の拡大 [世に影響を与える] セミナーの実践I 男性を祝福する	教会組織の整備と拡大 セミナー (専門分野) の充実 →セミナー指導者育成
2025	新規開拓開始 派遣30人 700人礼拝 (はりま90人) 二部礼拝の充実 シャイン礼拝の充実 ケア専門分野 災害支援分野	神の国の拡大 [世に影響を与える] セミナーの実践II 女性を祝福する	教会組織の充実 セミナー (専門分野) の充実 →セミナー指導者育成

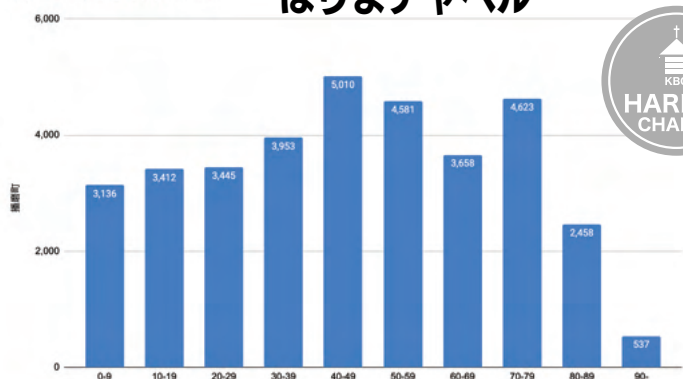
[各機関・建物] マウンテン青垣修繕・整備 / KBCI整備

作成：2021年

仲はみこころのままにめなにかにのこ
 ちに働いて志をサアキム
 くださる方です
 を言わずに 疑わ
 5年計画 ビジョン実現
 をめざして!



播磨町10歳ごとの人口分布図



はりまチャペル



播磨町の面積は9.13平方キロメートルと兵庫県で最も小さく、その3割が海を埋め立てた人工島である。人工島では一般機械器具製造、化学工業を中心とする約60数社が操業し、その製造出荷額は県下でも上位にランクされている。JR土山駅と山陽電鉄播磨町駅の2駅がある。神戸から40分、姫路から30分の位置にある交通至便な町。

世帯数 15,732 世帯
人口 34,798 人
(男性 17,040 人 / 女性 17,758 人)



KBC HARIMA CHAPEL

加古郡播磨町東野添 3丁目 2-17



小野市10歳ごとの人口分布図



おのチャペル

小野市は、兵庫県の中南部・東播磨のほぼ中心に位置する市。北播磨県民局に区分されている北播磨の中心都市である。神戸市と姫路市のほぼ中間に位置し、両市のベッドタウンとしての機能を持っている。このような事から1970年代から1980年代にかけて特に宅地化が進められた。また兵庫県で有数の伝統工芸都市として知られそろばんの生産地で有名である。東隣の三木市と共に金物で知られ、播州鎌は兵庫県の伝統的工芸品に指定されている。

世帯数 20,730 世帯
人口 47,437 人
(男性 23,106 人 / 女性 24,012 人)

開拓

KBC KAKOGAWA HARIMA ONO



幼稚園 3 / 小学校 4 / 中学校 2 / 高校 1
町長 佐伯 謙作 (ささえけんさく)



KBC ONO CHAPEL

小野市上本町 9-3 ルミエール 102



北播磨の位置

小学校 8 / 中学校 4 / 高等学校 2 / 特別支援学校 1
市長 蓬萊 務 (ほうらい つとむ)

私にはあなただけのことを耳で聞きました

神に出会うENCOUNTER エンカウンター CAMP

いよいよメンバーにもオープン!

<2024年度は3回を予定>

7月 5日(金) - 7月7日(日)
10月 4日(金) - 10月6日(日)
2月 28日(金) - 3月2日(日)

7月&10月は青垣で3月は調整中です。

抱きしめて祈られた時間、天のお父さんに抱きしめられた、大きな愛で包まれ、受け入れられていたという実感を体験しました。

神さまには全てわかっているのに無意識に神さまに隠そう、どこかで自分の力でなんとかしようとしていた自分が気づきました。神さまは「あなたの全てを知っています、全てをさらけ出し、明け渡さない」と示されました。

ごはなが毎回とびきりおいしい。サブライズの教会でのセル歓迎・プレゼントに涙がでました。信仰告白した日、教会のみんなが喜んでくれたことを思い出しました。

リーダー・ヘルパーの感想

このキャンプは今までで一番、クリスチャン人生の中で間違いなく大きなポイントになりました。父なる神さまが一番良いものを既に与えてくださった。僕がどんな状態であつてもこれからも与え続けてくださるという確信が与えられました。神さまの祝福が溢れているにもかかわらず、その中に自分で呪いの柵を作っていることを示されました。その柵は本当は既に取り去られている、解放されているはずなのに、自分でわざと柵を作っていることに気づかされました。その柵が子どもたちに、不安や迷いを与えていることがわかり、子どもたちの泣いている顔が迫ってきました。妻をこれ以上傷つけないという思いが湧き起り、ひたすら悔い改めの祈りをしました。祈り終わった時、「それも私が既に解決済みだ。」と語られ、平安に満たされました。原因と持っているものを拒絶し、今まで目を背けていた罪も神さまの前にたつていき明け渡すことができました。最後に残ったのは十字架への感謝でした。「耳で聞いていました。しかし今この目であなたを見ました。その通りの経験でした。呪いが全て解決済みであることを信じ、神さまを見上げて神さまについていきます。祝福を押し流すための賜物を僕にわけるように与えてください」と求めて祈ります。会場の雰囲気、食事、交わりのおかげで、全てがワンランク上で自分特別な存在なんだ、ここに居ていいと言われているような思いを持つことができました。3日間で終わるのが寂しくてずっといたい、また来たいと本気で思いました。最後のみんなの証も全て感動しました。最初から最後まで聖霊さまに満たされ続けた最高の3日間でした。妻と2人で参加できたことも感謝でした。

主が私が帰ることを待って下さっていることがわかりました。みじめでも後ろめたくも神さまは、ただ私の帰りを待ち、帰った時には喜び喜んで下さいます。そしてそこには全ての必要が用意されていることを受け取りました。心配せずにいつも平安である主の元に居たいと思いました。

自分の心に、意識していなかった困りがあったことを示されました。ダビデの生き方を見たソロモンが影響を受けたように、親の姿、言葉、選択、性格などが今の自分の生き方を形成している、その困いの外にある祝福に気づかない、気づいていても受け取らない姿がありました。困りを取り去りたい、用意された祝福を受け取りたいと祈り願った時に、そこからの解放が与えられました。

夜の集会で語られました。「主に自分を明け渡すとき、主が私たちの力を取られることがあります。私たちは自分で立つていられなくなり、自分の足で立っているのではない、とわかります。」「一瞬、私は自分で握りしめているものを全部明け渡せるだろうか?」「という不安がよぎり、そして「でも明け渡したいです」という願いを祈りました。体が熱くなり、涙がこみ上げ、力が取られるのを経験しました。主が私に命を与えておられる、主が生かして下さっていることを実感し、深い安心に包まれる経験をしました。

「わたしを愛するか。あなたはわたしの愛する子。産まれてきたことをわたしは喜び」と心に語られました。ハグがとてもし心地良かった。生きていていいんだと感じました。

今回のキャンプでも癒しは与えられませんが、神さまはその気になれば一瞬で癒すことができる方であることが分かりました。今まではこの体は神さまが意味を持って与えてくださったと頭では理解していましたが、しかし、この経験を通して、神さまがこの体を与えてくださったことに心から感謝できるようになりました。これからは癒しを求めません。神さまが私をどのように用いてくださるか期待します。

集会に参加する中で、過去を一つずつ旅するような「あんな事あったな」と思い出し、祈る時間でした。家に帰ってから3日間、夢をみました。過去の傷やトラウマ、たくさんみました。ただ、うぐらいにどうでもいいと思う自分がいました。サタンは訴える者が、将来を見せないようにしてると感じました。強い喜びがあるのがわかり、キャンプに参加して与えられたものがわかりました。

全世界へ行って行き すべて福音を伝えなさい



これまで働きを続けてくることができたのは、KBCの兄弟が私たちと同じところに立って、同労者として支えくださったからです。

メディアでは「このままもしウクライナが敗戦したら、その後どうなるのか」と普通に論じられるようになり、それらを見聞きするたびに言いようのない複雑な思いになります。

ロシアは、戦場で優勢の状態です。「停戦」に持ち込むことができた場合、現在「併合」を宣言している四州に加えて、オデッサ州をロシアに併合することを条件にと言われています。そのような中で、オデッサへは連日のように無人爆撃機とミサイルでの攻撃が続いています。しかし、このような状況の中で、HOPPEプロジェクトの働きが前進し祝福されていることを感謝します。HOPPEソルジャーズでは毎週病院訪問（ファンタン病院アレクサンドラフカ病院）が用いられています。治療を受けている負傷兵たちを訪問し、関係を築き彼らの話を聞き、主にある慰めと励まし、希望を分かち合うことを願い、この働きを継続しています。ファンタン病院から希望者たちを教会に迎え「兵士交わり会」をしています。HOPPEオデッサを通して、教会に導かれた避難民の方との関係を強めるために「避難民の会」も始まりました。また定期的に「戦没兵士家族会」をしています。戦争によって夫や息子を失った女性たちを励ます会です。この会を通して彼女たちとの信頼関係が強くされ、救いに導かれ、主の慰めと癒しを受け、その輪が広がることを心から願っています。

「主よ、早くこの悪をどめてください。侵略者が早くその野心を捨て、ロシア軍の兵士、ウクライナ軍の兵士たちが家族が待つ家に、早く無事に帰ることができるようになってください。あなたの義による平和をこの地にもたらしてください。ウクライナの土地と空と海が守られますように。そして、時かれた福音の種が豊かな収穫となる日が来ますように。」 *一時帰国予定六月十一日〜七月二二日

昨年、四年半ぶりに宣教地に帰ることが出来ました。特殊なビザで行動範囲も期間も制限はありますが、ダビデに与えられたような「水汲みの地下道」が与えられました。聖霊に導かれ、宣教地に入って行ったとき、溪水傍メソバーと再開し共に礼拝できました。共に家族を訪問して福音を伝え、礼拝に迎えることができました。その中でライオンが救われました。

二〇二四年メソバー

The joy of the Lord is may strength
主の喜びは私の力。ネヘミヤ八章二〇節

神さまが何かをして下さったからではなく、主ご自身を喜ぶことが私の力です。悲しんではならない。主の喜びが私の力だからです。礼拝後、ハオセンはメソバーに感動し賛美する奉仕をしたいと決心し、ライオンは「帰り道で賛美を作りました」と教えてくれました。シヤン姉から「明日、食事に来て下さい」と誘われ行ってみると、ルー兄のお姉さんと子どもと近所の友だちが集まっていました。福音を語る場となりました。神さまを喜ぶとき行動が生まれます。溪水傍二〇二四、礼拝とメソバーシヤン生活を再建します。兄弟姉妹と共に喜びを伝えます。状況は決して簡単ではありません。毎回大きな緊張があります。しかし、祈りによって大きな励ましと平安が与えられています。

共に宣教できること、共に神さまの御業を賛美できることを感謝します！



昨年十月から始まった戦争に関する報道に偏りがある中、日本国内からオンライン取材や記者会見に参加して、オリブ山通信、オリブライフ、ハインイト教材等の執筆活動を通して、情報を発信し続けることができました。またヤド・ヴァシエムの公式ガイドとして、一般向け・教会向け・BFP関係のバーチャル・ツアーを開催することができました。それらの参加費用からヤド・ヴァシエムへ献金、現地の励ましとなりました。神戸のシナゴークにイスラエルから来たユダヤ人たちにイエスキリストの名前によって奉仕する機会が与えられ、ラビ家族と良い関係が与えられています。一般では明石西高校、高松高校の生徒たちにユダヤ人の歩みから、聖書を伝えるときが与えられました。教会でもメッセージ、セミナーの機会が多く与えられました。二〇二四年度激動の世界の中で、イスラエルと日本の祝福となる働きを続けます。イスラエルと世界で起こっていることを、オリブ山通信、講演活動を通して、日本の教会と一般社会に伝えます。またイスラエルの学びを通して、教会が確信をもって福音伝道に前進していく励ましになります。

今年の神さまのことは「気落ちしてはならない」もしあなたが苦難の日に気落ちしたら、あなたの力は弱い。死に渡されるために捕らえられた者を救い出し、殺されようとしてよるめき歩く者を助け出せ。箴言二四章十一節

神さまが主権を持っておられます。どんな時にも、たとえ大洪水の時にも主権を持っておられるのは神さまです。イスラエル、そして日本の九九%の魂を救出するために一年間歩んでいきます！

**GO INTO ALL THE WURLD
AND PREACH THE GOSPEL
TO ALL CREATION**



OM日本のリーダーとして三年目が始まります。二〇二四年度、五つのプロジェクトに取り組みします。

1『能登支援宣教』OM北陸地区では五家族と三名の独身のメンバーが宣教しています。今後も地域教会また能登ヘルプと協力し、この地で働く宣教師たちを支えながら、能登支援宣教活動を行っていきます。

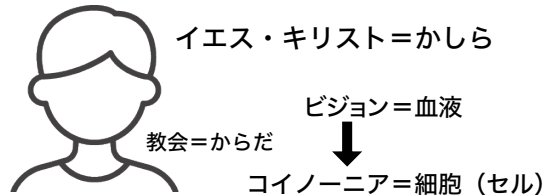
2『四国宣教』OMチームのいない四国宣教に重荷を持って祈ってきました。二〇二四年、祈りの中で拠点を決め、地域教会と協力し、チームを結成し、二〇二五年度にチームを送ります。

3『ドウスホープ号』前回、ロコスホープ号が来日したのは二〇二四年。二〇二五年、春に新しいOM船ドウスホープ号の来日計画があります。多くのノンクリスチャンが福音に触れる時となることを期待します。

4『短期宣教』コロナ後、昨年ようやく海外からの短期宣教チームが来日しました。その大半は若者たちです。彼らの人生にとって大きな経験となりました。二〇二四年度もチームの来日予定です。日本からも海外への短期宣教も計画しています。

5『オフィス強化』現在、OM日本は子どもたちを含めると約九〇名います。これは世界の中でも大きな数で、様々な手続きのためオフィスがとても重要になっています。チームが整えられ、日本人の救いを勝ち取り、日本の教会の祝福となつて用いられる宣教団体になります。

一人か二人かわたしの名においで集まっています いるところにはわたしもその中にいるのです 小さな群れよ恐れることはありません あなたが **Koinonia** 国を 与えてく **コイノーニア 相互牧会 & 協力伝道**



相互牧会：牧会を相互 互に行う

牧会は 人を成長へと導き キリストを見上げる者となることを助けること
 人を教会の使命をともに負うことを喜ぶ者とする

エペソ 4:11-13

- 11 こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。
- 12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。
- 13 私たちはみな、神の御子に対する信仰と知識において一つとなり、一人の成熟した大人となって、キリストの満ち満ちた身文にまで達するのです。

能力・賜物の発見を助け 用いられる場(働きの場)を提供する！

協力伝道：ともに協力して<福音>を伝える

伝道対象者を明確にする 祈る 会う 救いに導く 成長を願う

【コイノーニアを一年体験した感想】 谷元延幸・亜衣

あるリーダーが教えてくれました。リーダーはメンバーにとって最高のフォロワーであること。ヘルパーはリーダーにとって最高のフォロワーであること。これを肝に命じていると。メンバーの痛みを覚え、眠れない夜もある。胸が締めつけられて苦しい日々が続くこともある。リーダー・ヘルパーは牧会の心を持って群れの様子をよく見ています。メンバーはさりげなくフォロワーを受けながらコイノーニアに安心感を持って集まっています。誰かが積極性をもって仕えてくれている時間を楽しんでいます。チームワークよく仕える奉仕の時間も楽しいです。誰もが積極性をもって仕えています。リーダー・ヘルパーの情熱と仕える姿勢はコイノーニアメンバーにも伝わっています。リーダー・ヘルパーが不在の時にも、自主的にチームに仕えるメンバーがいます。目立つ、目立たないがあるかもしれませんが、メンバーはコイノーニアに、そして、教会に貢献しようとしています。

コイノーニア単位で相互牧会がしっかりとなされています。セルを持っていく教会は多くありますが、こまごまの低い水準で仕え合う心が養われているところは数少ないと思います。イエス・キリストが中心になっています。祝福となる、役に立つ集まりとなっています。どの世代のコイノーニアも本当に素晴らしい集まりです。KBCのコイノーニアは、神さまの祝福をはっきり体験できる幸せな場だと思います。

コイノーニアで受け入れられる喜びを体験しました。一年経った今でも、その感動と喜びは忘れられません。新しく来られる人にも体験してもらいたい喜びです。コイノーニアがあると、一人になることがないで寂しくなくていいです。礼拝前に集まって、礼拝後に分かち合い、一緒にご飯を食べ、その後一緒に過ごす家族のような感じです。これがメンバーの信仰の建て上げの一つになっていると思います。コイノーニアで食事準備をはじめとする奉仕を一緒にするのも楽しいです。どのコイノーニアに共通していますが、リーダー・ヘルパーをはじめ、メンバーの意識には教会の使命「礼拝・宣教・交わり」が浸透しています。ですから、集まりに安心感があります。コイノーニアの一人ひとりが使命を持って、役割を担っているのを感じます。みんな楽しんでいて、ノックリスチャンの人も心を開くのが早いように思います。

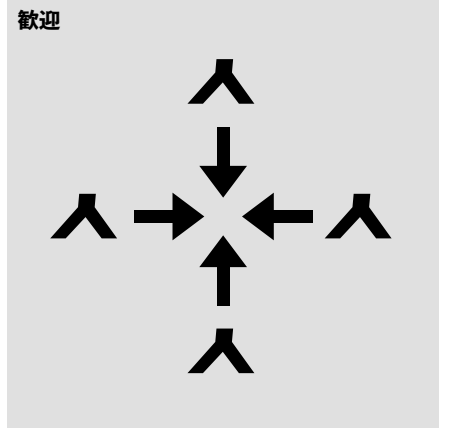
コイノーニア集会はイエスキリストが喜ばれる集まり！

ウェルカム 時間通りに始める！

Welcome

目的：お互いを歓迎し 心と態度を和ませ一致する
 メンバーの一人一人は仕事、学校、家庭とさまざまな場所からコイノーニア集會に集います。辛かった出来事もあったでしょう。けれど、ひとまずそれらの出来事を横におき、ゲームや話などをして楽しい時間をみんなで持ちましょう。初めての方も一緒に参加しておもいきり楽しみましょう。

ウェルカム 約 15分

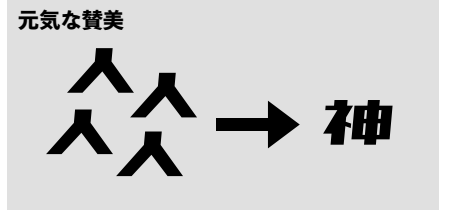


ワーシップ

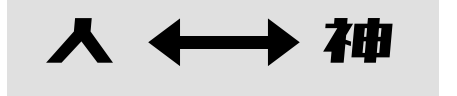
Worship

目的：感謝と喜びで賛美し 神さまとの時間をもつ
 イエスさまは私たちを愛しておられます。この時間ではイエスさまが与えてくれた救いを感謝と喜びをもって歌います。その後、私に対する神さまの思いを聞いて、それに応えていく賛美の時間をもちましょう。初めてのの方は歌詞を見ながら神さまってどんな方かな？という思いで賛美を聴いて下さい。

ワーシップ 約 15分



深い賛美

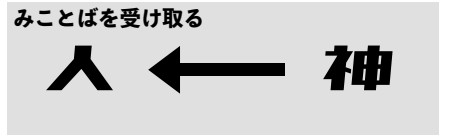


ワード

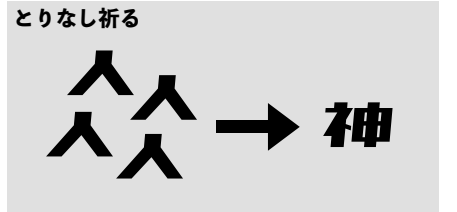
Word

目的：神さまの御言葉を受け取る
 神さまは私たちに語りかけてくださる方です。この時間は神さまが私に語られることばを聞きます。神さまの思い、願い、計画をそのまま受け取り信じる告白をしましょう。初めてのの方は分からない事やさらに知りたいことは何でも聞いてください。

ワード 約 20分



ワークス 約 20分

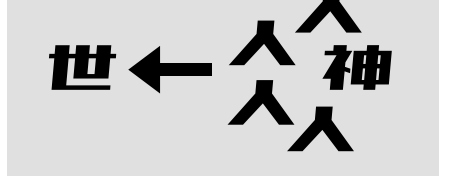


ワークス

Works

目的：一致して祈り 神さまから遣わされる
 神さまは私たちと一緒に歩んでくださる方です。この時間は心配事や解決して欲しいことをみんなで祈ります。自分や家族、周りの人が幸せになるように神さまに祈っていきましょう。神さまが愛しておられる人たちのところに福音を届ける計画をみんなで考え準備しましょう。初めての方も祈ってもらいたい事があれば教えて下さい。

宣教企画



ビジョンサンデー



2024年度のビジョンを受け取り一つとなって歩み出す

Beautiful Festival

KBCに与えられた会堂マウンテン青垣を感謝し清掃する

Mother's DAY 母の日

主が与えてくださった母に感謝と尊敬をあらわす

Father's DAY 父の日

主が与えてくださった父に感謝と尊敬をあらわす

2024 CHRISTMAS

かこがわ・はりま・おのキリストの誕生を祝いこの地に宣教する

COUNT DOWN

1年間の祝福を感謝しハレルヤで新年を迎える



神さまの思いを知りすべてを明け渡し使命を果たすために約束を受け取る
第一 水曜日 10am / 8pm



第2日曜日 15時から
NEW GENERATION LIVE
13-29の宣教ライブイベント

宣教54周年記念集会・礼拝

54年間の神の導きを感謝する

子ども祝福

KBCに与えられた子どもたちを感謝し祝福を祈る(献児式)



バプテスマ(転会)を受けKBCのメンバーとなった兄弟を歓迎し祝う

2024 GOSPEL

高砂市文化会館ゴスペルを通してキリストの誕生を祝いこの地に宣教する



聖書を理解し実践するみことばによって知恵を得る
第三 水曜日 10am / 8pm



教会の使命とビジョン礼拝のために祈る

第4日曜日 15時から

中高年のための礼拝



明るく元気にいきいきと♪

51年の教会感謝



感謝パーティー

KBCが一つとなり働きを神に感謝する関係を楽しみ互いの関係を楽しむ子どもたちが神の家族を楽しみ誇る

CAMP

神の家族を経験する同年代で時間を過ごし互いの成長を助け喜ぶ

宣教旅行

証人として世界に出て行く! 宣教の働きを励まし共に宣教する

敬老祝福

高齢の方々に感謝し祝福する

秋っぱれ Sunday

*野外礼拝のみ
自然の中で神の創造のわざを感謝し礼拝する

元旦礼拝

新しい一年の始まりの日に家族で神を礼拝する

分科会

9月 聖書を知る 聖書を味わい喜び楽しむ
2月 聖書で生きる 聖書を実生活に適用する

成人家族祝福

成人が20年の導きと助けを神と両親に感謝する



コイノーニアリーダー・ヘルパーの真価を認め称賛し感謝する

母口心を一につにしし吾に
集まり家々でパンを裂き
喜びと真心をもって食事
をと共にし、袖を賛美し民
全体を賛美し民
いたる所々にわたる人
々を加へしにしてく
ださった

企画・集会の目的

A Zone

高井伝栄 宮崎新治
船越一司 吉永裕元
石川一枝 大橋佳与子
永松章子 藤田智子
船越弘子 宮崎美津子
吉永初喜 鷺澤宏子

B Zone

榎原達也 松本晃
釜井延幸 釜井純子
嶋谷真理子 菅野一子
長谷川千寿子 永松瑞穂
宮内絵理子 渡邊千春

C Zone

赤松慎司 大山太陽
勝部慎一 小野晴樹
橋おおぞら 藤盛貴宏
梅谷ベス 王子麻美
木田順子 大山佑紀奈
高井実穂 小野恵子
下柳美雪 橋望美
藤盛奈穂

D Zone

梶内健太 安藝拓斗
山本滉 三木雅晴
山本稔 福本美波
安藝穂奈 梶内若葉

Harima

永松耕亮 嶋谷英祐
椎葉恵大 田富宣道
梅谷裕乃 山本一成
佐藤章愛 新田陽香
石井美和 田富茉依香
山本政子

E Zone

石井省伍
高井実穂

Ono

花房真 石川晃
安田頼永 大谷史子
太田聡子 苗村ゆかり
花房夏緒理 福永美紀

サービスプレイヤー

長谷川邦和 宮永恵理也
粟野裕子 石井可奈
石川知子 伊瀬知美美
内田のぞみ 梅谷裕乃
大栗まり子 小野恵子
木田順子 下柳美雪
菅野一子 橋みどり
田中優美 轟木優香
中山裕子 新田陽香
西川徳枝 西村明希
ネベス紗世 畑野良子
花房夏緒理 藤田智子
船越紗矢 堀江春香
本田久留美 松本温子
三木多恵 宮崎美津子
柳和香子 山原由貴
吉永初喜

アッシャー

栗野勇気 勝部慎一
高畑陽平 永松耕亮
松中淳之 三木亮輔
村上弘純 吉永享平
石井可奈 伊瀬知美美
木前愛弓 田中里奈
長谷川美紗子 宮内美樹

インフォメーション

安橋繁香 大山佑紀奈
梶内若葉 権藤真理
清水知恵美 苗村ゆかり
永松日陽 長谷川奏音
源圭 渡邊千春

ウェルカム

石川晃 金田拓真
田中智大 後河内由紀
織部文子 菅野一子
中埜典子 山本葵
横山慶子 山下いくよ

パーキング

榎原達也 加藤淳
小西広樹 下柳猛
田富宣道 新田剛
長谷川瞬 藤盛貴宏
松本晃 宮永恵理也
山本一成 横山和也

バンド

石原寛之 キムソングジュン
佐藤慎一郎 嶋谷英祐
高井伝仕 西尾誠司
平本勇 澤田賢太郎
花房真 長谷川詩音
堀江義史 松井健
山本滉 山本稔
ネベスリチャー 中野由利絵
新田陽香 長谷川千寿子
花房夏緒理 森寛子
森本満穂子

ボーカル

赤松慎司 安橋恒明
石井省伍 大山太陽
小野晴樹 梶内健太
澤田賢太郎 花房真
有吉薫 石川知子
井上和代 梅谷裕乃
ほぜ美保 榎原順子
加藤里奈 佐藤章愛
椎葉知聖 田富茉依香
長谷川美紗子 福永美紀
森本哲子 堀江春香
堀江理絵 宮崎美津子

CS

榎原達也 高田凌平
中尾一誠 吉永充志
梅谷ベス エゼ聡子
太田聡子 岡田三由紀
加藤里奈 田中麻衣
永松章子 永松瑞穂
西尾理津子 長谷川千寿子
三村ブニア 森寛子

通訳

リチャード 田中喜子
宮内美樹

IT

大谷千加良 田中智大
田中佑弥 三木雅晴
三島健太郎 三嶋宏之
梅谷裕乃 宮永喜美香
松本温子

照明

石原寛之 中野暢之

音響

石井省伍 小林俊介
佐藤豊 高井伝仕
西尾誠司 高橋茉依香
福本美波

サーバント

石井美有 梅谷裕乃
小野恵子 小林直子
藤盛奈穂 高畑より子
田中喜子 中山緑
吉永望

会計

栗野孝次郎 小野晴樹
高井伝栄 橋陽三
田中琴美 宮永和子
山田睦

美化

大橋佳与子 橋あつ子
松嶋晴絵

食事

王子麻美 三木幸子
嶋谷章子

カフェ

荒木由子 角田亜喜子
藤田智子 安田真愛
吉永志保

NEWS

太田耕吉 船越一司
伊瀬知美美 木田順子
小谷道子 下柳美雪
高井和子 永松章子
船越弘子 宮崎美津子
渡辺美代子 横山慶子

聖歌隊

石川知子 榎原順子
加藤里奈 森本満穂子
長谷川瞬 小野晴樹
木前愛弓

全ての奉仕者 救いの確信をもっている
罪から離れている
選ばれた確信をもっている
すべての必要が満たされると
信じている
良い態度 服従 御言葉に従う
指導者に従う
尊敬 非難しない
さばかない
忠実 やりとげる
継続する
希望 神からの賜物を求める

とれぞれが賜物を受けしているのだから 仲の様々な
恵みの良い管理者として その賜物を用いて互いに仕
え合いなさい 語るのであれば神のことばにふさわしく
語り奉仕するのであれば 神が備えてくださる力に
よってふさ **奉仕者リスト** さい すべてにおいてイ
スキリスト ぶれぬ心で 務められるためです この
片に栄光と力が世々限りなくありますように

4 APRIL

5 MAY

6 JUNE

7 JULY

8 AUGUST

9 SEPTEMBER

10 OCTOBER

11 DECEMBER

12 NOVEMBER

1 JANUARY

2 FEBRUARY

3 MARCH

Calendar grid with 30 rows and 12 columns. Each cell contains a date and event description. Some cells are shaded grey to indicate specific events or holidays.

ウェルカムパーティー

船越夫妻帰国
6月11日~7月22日予定

CSサマースクール

D・中高生 夏キャンプ

聖書通読
防災訓練

ウェルカムパーティー
勇貴夫妻帰国 秋頃予定

CSウィンタースクール

聖書通読
バプテスマセミナー

年間計画 招へい委員会

CSスプリングスクール
コイノーニア編成